学校番号	１２０３

令和２年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「社会と情報　Ｎｅｘｔ」　（数研出版）						
副教材等	「社会と情報　Ｎｅｘｔ　サポートノート」　（数研出版） 「３０時間でマスター　Ｏｆｆｉｃｅ２０１６」　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンピュータの基本的な操作から応用的な操作まで、実習を通して学んでいきます。
情報を活用して、人に伝える表現方法を学んでいきます。
情報社会で起きている問題について理解し、解決策を考えていきます。

２　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、問題解決をすることができる
・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参加する
・情報社会で必要とされるワープロソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアを効果的に活用することができる

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決しようとする態度 ・自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする態度	・情報に関する科学的な見方や考え方を活用する力 ・情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現する力	・情報および情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けている ・目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱うことができる	・情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識の理解 ・社会における情報及び情報技術の意義や役割の理解
評価方法	学習状況の観察 授業の振り返り ノート・ワークシート 実習作品 発表	学習状況の観察 授業の振り返り ノート・ワークシート 発表 定期考査の結果	学習状況の観察 授業中の課題 発表 実技テストの結果	学習状況の観察 ノート・ワークシート 発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報とメディア	○情報とメディアの特徴 ・情報の特徴 ・情報の表現形式 ○コンピュータの活用 ・コンピュータの構成 ・ワープロソフトウェアの活用	○ ○	○	 ○	○ ○	a:コンピュータのしくみについて興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:目的に応じた情報の表現形式を判断することができる。 c:情報機器を活用し、目的に応じた文書を作成することができる。 d:コンピュータの構成、しくみについて理解している。	・授業状況の観察 ・授業の振り返り ・ノート ・ワークシート ・授業中の課題 ・発表 ・実技テスト
	情報社会と情報モラル	○人・社会とのかかわり ・情報社会が人に及ぼす影響 ・インターネットの活用 ・情報モラル ○技術とのかかわり ・情報セキュリティ ○法とのかかわり ・著作権	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:情報社会において、起こりうる問題や法を踏まえて、適切に解決・行動をしようとしている。 b:情報社会において起こりうる問題を推測し、影響・解決策を考えている。 c:情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d:情報社会が人に及ぼす影響を理解している。	・授業状況の観察 ・授業の振り返り ・ノート ・ワークシート ・授業中の課題 ・発表
	ディジタル情報と情報の活用	○情報のディジタル表現 ・ディジタル情報の表わし方 ○情報の表現と伝達 ・情報の発信とその注意点 ・表現の工夫 ○表現の工夫を活用した作品制作	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:ディジタル化のしくみについて興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報の表現方法の工夫について考えることができる。 c:情報機器を活用し、相手に効果的に伝えることができる。 d:情報の発信方法、表現方法の工夫について理解している。	・授業状況の観察 ・授業の振り返り ・ノート ・ワークシート ・実習作品 ・発表

後期	望ましい情報社会の構築	○情報社会における 問題解決 ・問題解決 ・表計算ソフトウェアの活用 ○情報システム ・情報システムと人間	○ ○	○ ○	○ 	 ○	a:問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b:問題解決のための方法を考え、目的に応じて適切な解決方法を選択することができる。 c:適切に情報を処理し、問題を解決することができる。 d:よりよい情報社会を構築するための考え方やくふうについて理解している。	・授業状況の観察 ・授業の振り返り ・ノート ・ワークシート ・授業中の課題 ・発表 ・実技テスト
	ディジタル情報と情報の活用	○情報の表現と伝達を 活用した作品制作 ・プレゼンテーション ソフトウェアの利用	○	○	○	○	a:プレゼンテーションソフトウェアに興味をもち、積極的に実習課題に取り組もうとしている。 b:適切な表現方法を判断することができる。 c:情報機器を活用し、適切な視覚資料を作成することができる。 d:ソフトウェアの利用方法について理解している。	・授業状況の観察 ・授業の振り返り ・ノート ・ワークシート ・授業中の課題 ・発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解